

公立小学校における女性教員の管理職への昇任及び キャリア形成に関する研究

楊, 川

<https://doi.org/10.15017/1441009>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（教育学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

論文審査の結果の要旨

本論文は、先行研究が別個に取扱ってきた管理職任用制度と女性教員のキャリア形成という2つの研究対象領域を組み合わせた独自の分析枠組みを用いて、女性教員の学校管理職へのキャリア形成過程とその阻害・促進要因を分析したものである。各都道府県・政令市教育委員会への質問紙調査を通じて、管理職任用制度の全国的な運用実態を把握したうえで、その政策及び管理職任用実態をもとに地域類型を設定し、典型的な4自治体を中心に人事担当者や女性管理職に対するインタビュー調査等を通じて、それぞれの地域的諸条件のもとで制度・政策の違いによる女性管理職のキャリア形成への影響を明らかにした。他領域の知見を活かした分析枠組みの有効性という点で教育行政学研究の新たな可能性を開拓した研究である。

また、本論文ではこれまで明らかにされてこなかった管理職人事制度における「システム内制的差別」の存在とその実像も解明している。とりわけ女性教員自身が作った独自のシステムの存在—女性管理職会、中堅女性教員研修会への着目によって、このインフォーマルな団体が差別を克服する組織であると同時に新たな差別を生むシステムとなっているディレンマを指摘するなど、従来の女性管理職研究では示されてこなかった知見も析出している。教員のキャリア形成の契機に配慮がなされた仕組みを作らなければ、女性教員にとっても、さらには管理職になることを望まない男性教員にとっても、キャリア発達上の困難が続くことになることを本研究は示唆している。

以上のように、本論文は先行研究では示し得なかった重要な知見を導き出すものである。よって本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。